



ほえみ

2021.7.1
(令和3年7月1日)

第188号

大竹市社協・大竹市民児協だより合併号



第47回 入園式

4月7日に入園式を行いました。新しくかわいい入園児2名が加わり早2ヶ月。子どもたちは新しい環境にも少しずつ慣れ、毎日たくさん笑顔をさせてくれます。

阿多田 保育園

こいのぼりづくり
5月5日こどもの日に向けて、みんなでこいのぼりづくりをしました。強くて流れの速い川でも元気に泳ぎ、滝をのぼるたくましい鯉のように、みんなも元気になりますように。



ふれあいネットワーク

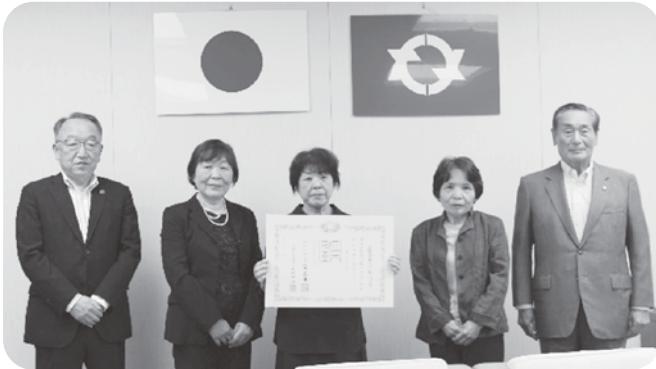
愛ちゃん と 希望くん



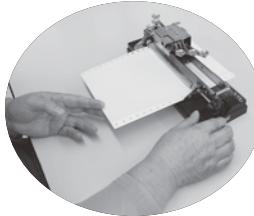
この広報紙は共同募金（赤い羽根）配分金を受けて発行しています。

緑綬褒章 点字グループ「あけぼの」

20年以上引き続いて、点訳奉仕活動に従事した功績



5月27日、市長室にて伝達式。
入山市長から褒状を受け取りました。
(写真左2人目から)下向井ハツ子さん、
金子洋子さん=代表、山中町子さん。
おめでとうございます！

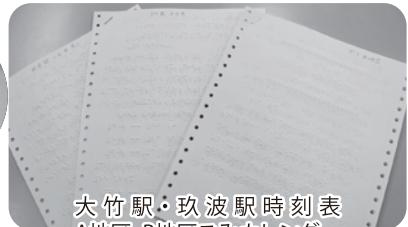


「ガイドヘルプ」
グループからお
祝いに額縁をい
ただきました。



「夜が明けていくように、ここから始まっていくように」

1979年、日本で初めて点字新聞が発行されました。広島県でも、点字図書館(現在の県立視覚障害者情報センター)の山本副館長(当時)が点字普及を目的として、手作りの資料を持って県内を回り、講習会を開催されたそうです。大竹市では40名ほどが受講し、そのうち約15名で点字グループを立ち上げました。大竹でも「夜が明けていくように」点字が普及していくよう願いを込めて、グループを「あけぼの」と命名しました。



大竹駅・玖波駅時刻表
A地区・B地区ごみカレンダー

「人を知って、楽しくやっていく。やっぱり、人が好きだから」

当時は、1枚1枚手打ちで点訳していたため時間もかかり、とても大変だったといいます。そのため、小さなお子さんがいるお母さんたちは思うように活動できず、離れていました。だんだんと会員が減っていき、35年前には一時3人になるなど、幾度となく活動継続の危機がありました。それでも、点字がなければ生活に支障が出る人に、必要としている情報が正しく伝わるよう、42年間、ひたむきに活動を続けてきました。

「点字を読みたいと言う人が一人でもいる限り、ずっと活動を続けていく」



私たちが打ったものを読まれて、直接「ありがとう」と言われる機会はないのですが、活動を通していろいろな人と出会うことができ、とてもいい経験をさせてもらっています。

現在、会員12名で、年齢も高くなっているため、ぜひ多くの人に点字に関心をもっていただき、若い方にも活動に参加してほしいと思っています。

代表 金子 洋子

《お問い合わせ》 地域福祉課 TEL 52-2275

令和2年度大竹市社会福祉協議会の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、大規模な行事は中止・延期となりました。コロナ禍だからこそ「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を基本理念として、「いま、社協ができること」を改めて考え、職員一丸となって取り組みました。

これらの事業には、皆様からの香典返し等の寄付金や、戸別一般会費が大変貴重な財源となっております。地域福祉推進ならびに社会福祉協議会の活動への皆様のご理解とご協力に、心より感謝申しあげます。

ふれあいサロン活動支援

当たり前だった近所の人との集まり。いま、そのありがたさを改めて感じます。



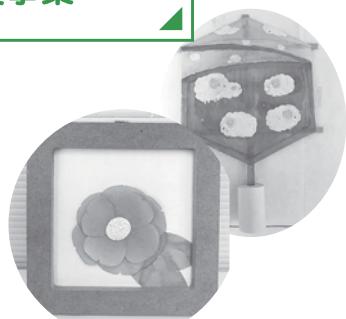
孤立や、身体機能の低下を防ぐため、感染予防対策をしながら行いました。



「ひとりぼっちにさせない」 孤立防止年末巡回



就労準備支援事業



中学校から不登校を経験した20代女性が、マスク・大竹伝統の手すき和紙作品を作製。皆さんからの応援メッセージが何より嬉しかったようです。



「本当に、ありがたいことですね」と、皆さん嬉しそうな顔で、さっそく腰掛けました。話にも花が咲きますね♪

生活福祉資金「新型コロナ特例貸付」

緊急小口資金・総合支援資金

(延長・再貸付を含む)

貸付…129件 相談支援延べ…591件

緊急食糧支援 (フードバンク)



今日は、防鹿での『ちょっといい話』をお届けします。

コロナ禍で、月2回集会所で開催していたサロンもお休みに。

せめて、近所の人と一緒に散歩、ついでにちょっと立ち話。

「やーれ、立ちっぱなしは、ちいとえらいね。腰掛がありやあねえ」：

そんな声を聞きつけた有志が、「ほんなら、わしが買うてきちゃげるいね」と、さつそく集落の道沿いに椅子を寄付してくださいました。

ちょっといい話



「優（やさあ）男がゆく！」～YASA-OH Goes～

新型コロナウイルスの感染が広がっていますが、皆さん、お元気ですか？

コロナウイルスは怖いのですが、つい、自宅にこもりがちになり、

筋力の低下や精神的な不安から、皆さんの心身の不調も心配されます。

そんな皆さんを励ますため、大竹の地域福祉ヒーロー「優（やさあ）男」が来てくれました！



運転手の金井さん「困っている人がいたら助けてあげたい。自分にできることは、ずっと続けていきたい」



福祉有償運送事業
現在、ご協力いただける運転手さんを募集しています！！

番組の中では、自宅でできるタオル体操も紹介しています。
皆さんもタオルを準備して、ぜひやってみてくださいね♪



有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」
簡単な買い物や掃除など、ご協力いただける協力会員さんを募集しています！！



【放送案内】

放 送 局：ケーブルテレビ ちゅピCOM(11チャンネル)

放 送 日：毎月隔週放送(第1週・第3週の月曜日から日曜日)

8時30分から8時40分と15時30分から15時40分

募集

有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」協力員養成講座を開催します！

「ほほえみネット」とは、会員方式の有償ボランティア事業です。

福祉サービスを必要としている方の日常生活（掃除・洗濯・話し相手等）をお手伝いしてみませんか？

日 時：令和3年7月27日(火) 13:30～15:00

場 所：サントピア大竹 2階会議室

内 容：①有料在宅福祉サービスについて

②介護予防・生活予防支援総合事業について

対象者：大竹市在住・在勤の方

参加費：無料

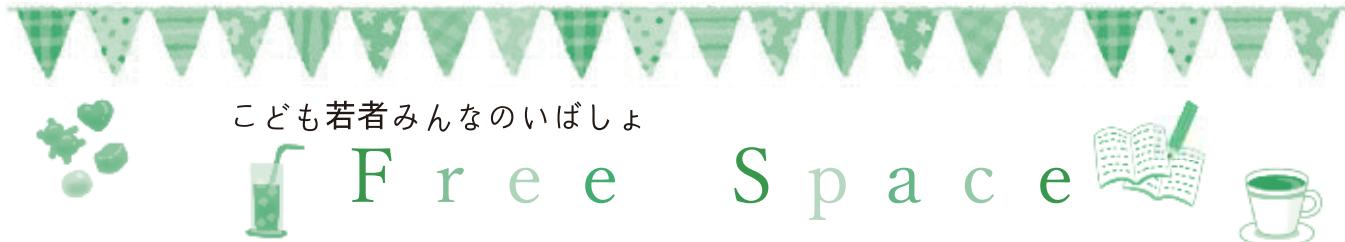
申 込：7月23日(金)までに大竹市社会福祉協議会(TEL: 52-2275)へ



新型コロナウイルス感染症の影響により、大竹市でも多くの方が失業や減収の影響を受けました。

大竹市社会福祉協議会でも経済的困窮の相談が倍増しています。なかには、「多子世帯の長子が大学進学を諦めて家計のために働いている」「通信制の高校に通いながら親の看病をしていた」など、いわゆる“ヤングケアラー”と呼ばれる若年層をとりまく課題も少なくありません。ひきこもりや不登校とあわせて全国的に支援の必要性が高まっているものの、中学卒業後、市外に通学する高校生や、働いている10~20代の相談窓口は身近になく、支援の手が十分に届いているとはいえない。

今年度、新たな取り組みとして、若年層を対象に「学校でも家庭でもない“第3の居場所”」を地域に作ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



とき 毎週火曜日 午後4時~午後6時 ところ アゼリアおおたけ（大竹会館）

こども若者みんなの「家でも学校・職場でもない第3の居場所」

学習支援（みんなで宿題ができる空間、上級生が下級生の学習を見てくれる）

生活支援（進学、その他、若年層が生活上の様々な悩みを相談できる場）

不登校・ひきこもりなど生きづらさを抱えたときに休める場所

社会・地域とつながる場所（やりたいことを一緒に考えていきましょう）

子どもの貧困連鎖および虐待防止（課題の早期把握・問題の啓発活動・地域住民と関係機関の連携による見守り）

※お問い合わせ 地域福祉課 地域福祉係 TEL 52-2275

登録ヘルパー募集！

大竹市社協訪問介護事業所では
自宅で暮らす方々を援助するため、**身体介護、生活支援（家事援助）、
ガイドヘルプなどを**してくださる方を募集しています。

- | | | | |
|---------|---|---|--|
| 1. 業 務 | 訪問介護 | 6. 保険等 | 労災保険・定期健康診断受診 |
| 2. 応募資格 | ホームヘルパー2級以上の資格を有している方。未経験可。 | 7. その他 | 実技指導、同行訪問で初めての方でも安心して働けます。
他の事業所でのお仕事やWワークの方でも登録できます。 |
| 3. 勤務地 | 大竹市内、廿日市市内のお部（大野）、和木町 | | |
| 4. 勤務日 | 月～土曜日 8時から20時
(勤務日、時間は要相談)
※週に1時間でも可能です。土、日歓迎 | | |
| 5. 賃 金 | 時間給・1,000円～1,200円
早朝、夜間は100円加算
処遇改善加算2回/年 実働に応じて
7,000円～200,000円 |  | |
- 【応募及びお問い合わせ】**
大竹市社協訪問介護事業所
〒739-0603
大竹市西栄2丁目4-1
TEL 0827-52-2227
担当 和田

こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。



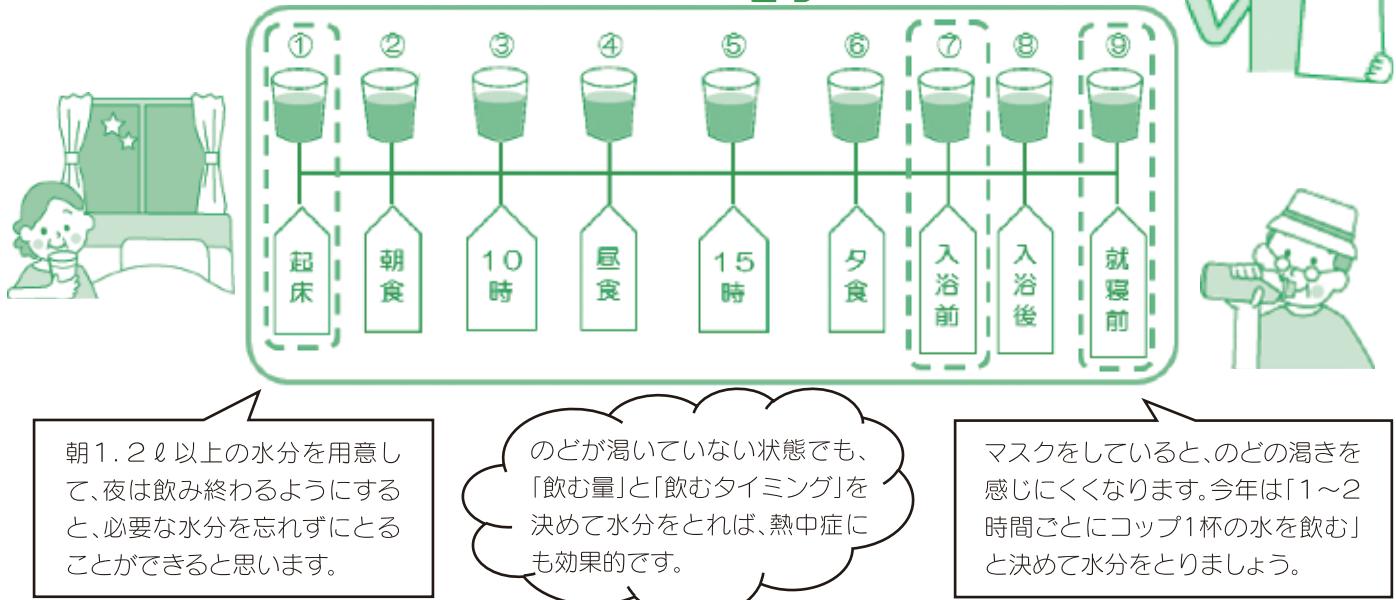
コロナ禍で熱中症のリスクが高まっています!!

そこで、コロナ対策に合わせて、熱中症の対策も行っていきましょう！

今回は、水分を摂るタイミングのご紹介をします。ぜひ、参考にしてください!!

● 飲むタイミングの例

□□…とても大事なタイミングです！



お問い合わせ 大竹市地域包括支援センター TEL 53-1165

マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について

発達障害のある方については、触覚・嗅覚等の感覚過敏（*1）といった障害特性により、マスク等の着用が困難な状態にある場合があります。

WHOの「COVID-19に関連した地域社会の子どものためのマスク使用に関するアドバイス」においては、「発達上の障害や他の障害、またはマスク着用に支障をきたす可能性のある特定の健康状態をもつ子どもに対しては、マスクの使用を強制するべきではない」「フェイスシールドなどのマスク着用に代わる選択肢を与えるべき」としています。

また、WHO「Q&A : COVID-19に関連する子どもとマスク」の中の「発達上の障害のある子どもはマスクを着用すべきか？」という項目では、「発達上の障害、その他の障害、またはその他の特定の健康状態のあるあらゆる年齢の子どもがマスクを使用することは必須ではなく、子どもの親、保護者、教育者、医療提供者、またはそのいずれかによってケースバイケースで評価されるべきである。いずれの場合でも、マスクを容認することが困難な重度の認知障害または呼吸障害のある子どもは、マスクを着用する必要はない」とされています。

発達上の障害に係るマスク着用の困難性には感覚過敏の特性によるものが含まれ、子どものみならず、成人に至っても継続する場合も想定されます。

また、フェイスシールドなどのマスク着用に代わる方法についても、重度の知的障害などの障害特性によっては困難な場合があります。

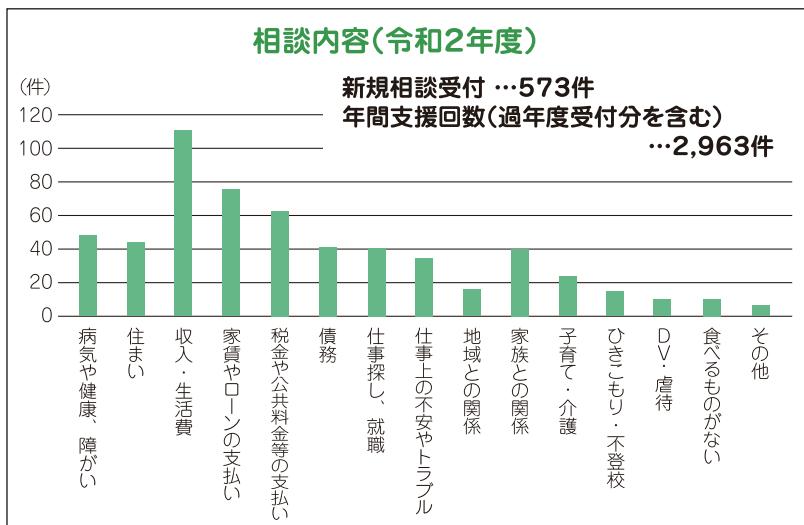
こうした障害特性により、マスク等の着用が困難な方に対する皆様のご理解をお願いいたします。

(*1) 感覚過敏とは、聴覚・視覚・触覚・嗅覚・味覚等について、非常に敏感になっている状態であり、発達障害のある方に多いとされる特性。その状態や程度は人それぞれであり、感覚過敏により日常生活に大きな支障をきたすことがある。



よりそいサポートセンターです！ひとりで悩まず、ご相談ください。

生活の不安や悩みごとを、ひとりで抱えていませんか。「どこに何を相談したらいいか、わからない…」。多くの場合「困っていること」は一つではありません。よりそいサポートセンターでは、時間をかけてお話を伺いながら、一緒に課題を整理します。一つひとつの困りごとを解決するために、市の担当課や専門機関と連携しながら、相談者に寄り添った支援を行います。



《相談窓口》よりそいサポートセンター(地域福祉課:サントピア大竹1階)

TEL(0827)35-5300 FAX(0827)53-8122

メール:otake-shakyo.yoriso@docomo.ne.jp

令和2年度 ひきこもり支援の会 活動報告

ひきこもり支援定例会
毎月 第4火曜日 10:00~12:00
サントピア大竹

アドバイザーに、大竹市こども相談室の船本哲生さんをお迎えしています。
関心のある方、ご家族の方、どなたでも参加できます。
(年間回数) 9回 (参加者) 延べ89名

ひきこもり不登校「親の会」
毎月1回 (不定期)
サントピア大竹

ひきこもりや不登校の経験をもつ親・家族がおしゃべりし、思いを共有する場です。
<年間回数> 4回 <参加者> 延べ12名



※令和元年7月の定例会の様子です。



※令和元年12月に開催した講演会の様子です。

広報啓発活動

ひきこもりや不登校について理解を深めてもらうために、講演会や、経験者が集まる交流会を開催しています。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

《お問い合わせ》 地域福祉課 TEL 52-2275

愛称

「ぷらっとほーむ」

新型コロナウイルス感染症が拡大していますが、3密や感染予防に気をつけながら、皆元気に作業をしています。

4月28日「ぷらっと農園」で収穫した野菜をサントピアで販売しました。

保護者のご協力のおかげでとても良い野菜ができ、サントピアの利用者にたくさん買っていたきました。

今年は例年より3週間ぐらい早く梅雨入りしましたが、夏野菜の収穫を楽しみに準備をしています。

これからもいろんな野菜やお花を販売する予定なので、サントピアで見かけたときは、よろしくお願いします。



野菜販売の様子

プランターで栽培したイチゴはとても甘かったです。来年は販売できたらいいな♪



就労継続支援B型事業所
さつき作業所
TEL 57-3935
FAX 35-5758(共通)

就労継続支援B型事業所
アイビー作業所
TEL 35-6655
FAX 35-5758(共通)
大竹市御園二丁目11-15

知的・発達障害のある子どもを育てるQ&A

大竹市心身障害児・者手をつなぐ育成会



Q3. 家族の理解・きょうだいへの配慮

家族の関わり方、特にきょうだいとの関わり方はどのように考えていくべきですか？

A. 障害について家族が理解することはとても重要です。

しっかり話し合いながら理解を深めていきましょう。特にきょうだいには、小さい頃から、その時々にあつた子どもにわかる言葉で障害について丁寧に説明してあげてください。きょうだいへの配慮は大切です。決して「できて当たり前」ではありません。自己肯定感が育つよう、しっかり褒めてあげてください。また、きょうだいだけの向き合う時間を作りましょう。話を聞いて、気持ちを受け止めてあげることも大切です。

忙しい中、時間のやりくりは大変でしょうが、様々な支援を利用して、きょうだいが自分の人生を歩みだせるよう見守りながら、自立できるように導いていきましょう。

本人の支援については、福祉サービスの利用を少しづつ増やしながら、自立できるよう導いていきましょう。

保護者の声

しっかり者の姉は妹思いで、よく遊んでくれています。でも自分に自信がなさそうで気になっていました。「障害のある子に関わるエネルギーの10%をお姉ちゃんにかけてあげてください。いつも我慢している子どものためだけに本人の大好きな食事を手作りしてあげることで、グーンと成長するはずですよ」勉強会に参加して、講師の先生からいただいたアドバイスが、ガツンと胸に響きました。その後の子育てで、いつも自分に言い聞かせています。

手話奉仕員養成講座がはじまりました

5月11日(火)から、全20回(10月末修了予定)で手話奉仕員養成講座が開講しました。昨年度の「入門編」に続き、今年度は「基礎編」となり、4名の方が受講されます。よろしくお願ひいたします。



～参加者の声～

① 70代女性(大竹市内)



「ろう者の方と話がしたいなと思って、始めました。」

② 50代女性(大竹市内)

「手話に興味があって、入門編から参加しています。」



③ 30代女性(広島市)

「手話奉仕員を目指しています。基礎編が受講できるところを探していて、日程が合ったのが大竹市だったので、こちらに参加させてもらっています。」

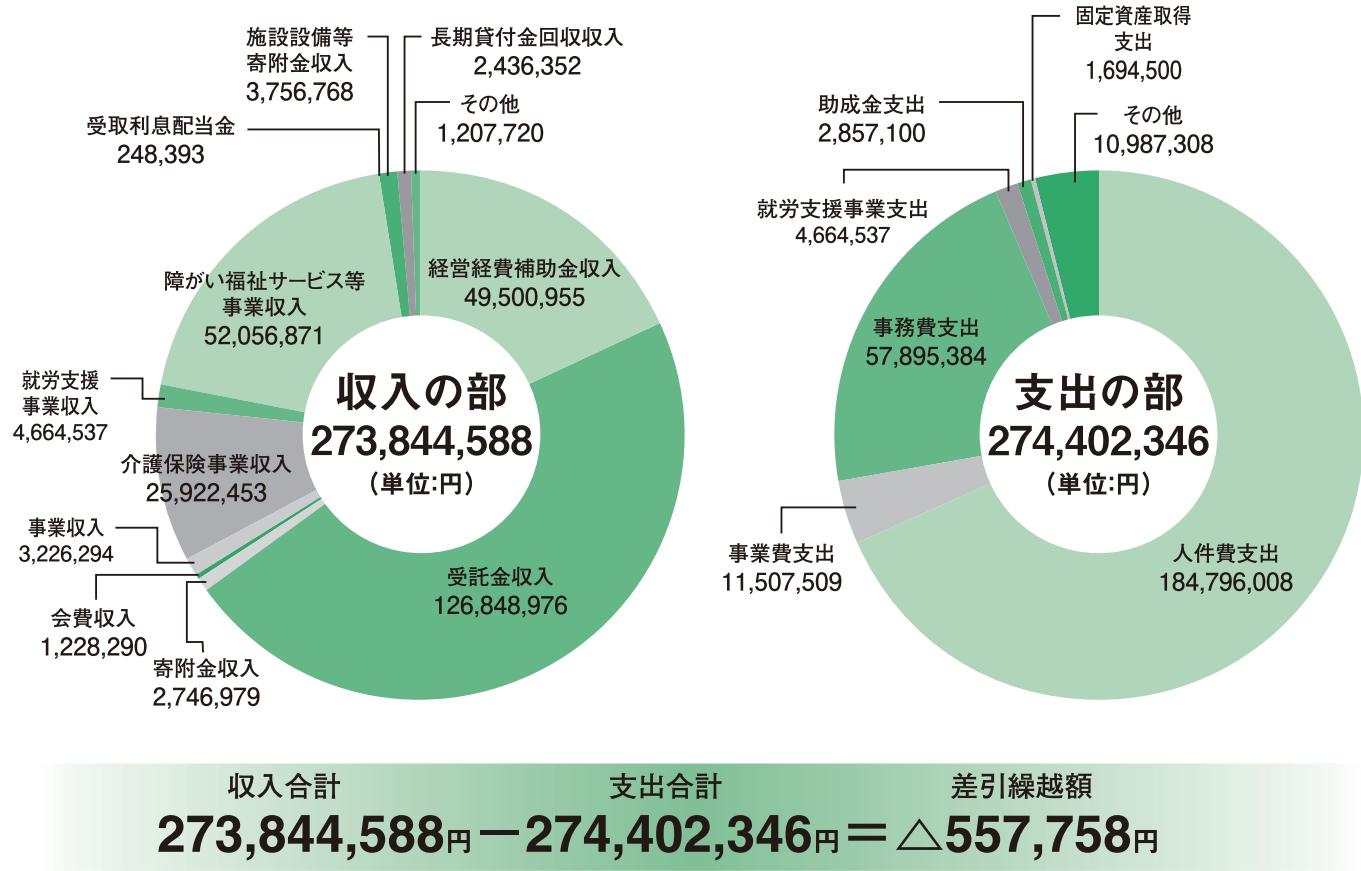


④ 30代女性(大竹市内)

「手話を始めたきっかけは、ろう者の友人ができるので。もっと通訳できるようになりたいと思って勉強を始めました。」



令和2年度 大竹市社協決算概要



夫	夫	父	父	母	母	妹	夫	父	父	武雄	永井	菊江
卓彌	光三	英春	裕朗	都恋美	義文	良子	満枝	稔雄	夫	龍	金森	亮一
池光	山内	柴田	田宮	正木	児玉	三津子	北林	松中	谷岡	阜爾	小田	尚英
稔子	房江	英生	佑一	浩太郎	繁喜	長久	謹子	洋子	時子	立戸	南栄一	立戸二
元町一	御園一	安条	白石二	防鹿	木野一	玖波三	玖波三	小方一	本町一	立戸一	南栄一	立戸二

◆香典返しにかえて

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。
ここに、ご芳名を掲載させていただきますとともに、謹んで厚くお礼申し上げます。(敬称略)
※金額表示につきましては、ご寄付者のご意向によるものです。

あなたかいご寄付
ありがとうございます

災害募金のご協力ありがとうございました。
広島県共同募金会より各災害地域に送金していただきます。
福島沖地震災害
広島県共同募金会に送金しました。
令和3年5月31日終了募金額
合計金額は1,307円でした。
松江市大規模火災
令和3年5月31日終了募金額
合計金額は1,827円でした。

◆物品寄付
飲料水
2ℓ 150本 500ml 1,344本
肉じゃが
250食 さばのみそ煮
250食 1,380食
アルファ米
390箱 ライスラッギー 200食
ハンバーグ
22件 56万8千円
《合計金額
(株)ダイセル》

◆指定寄付
大竹さつき作業所
金一封 2万円
匿匿名名
（株）ユーマットプレシャス
顯徳寺仏教婦人会
金一封 2万円
匿匿名名
チャリティーゴルフ収益金
一部として
東南アジアの子どもを
就学させるため
広島西カントリー俱楽部
チャリティーゴルフ収益金の
一部として

◆一般寄付
金一封
匿匿名名
（株）ユーマットプレシャス
顯徳寺仏教婦人会
チャリティーゴルフ収益金
一部として
東南アジアの子どもを
就学させるため
広島西カントリー俱楽部
チャリティーゴルフ収益金の
一部として

相談窓口

事業名	とき	時間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日 (祝日休み)	13時00分～ 16時00分
よりそいサポートセンター	月～金 (祝日休み)	9時00分～ 17時00分
障がい者相談支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分
地域包括支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分

学習会

事業名	とき	時間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分～ 20時30分
手話「ママとかめの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～ 12時00分
手話「ぼほんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～ 15時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第3土曜日(勉強会)	9時30分～ 9時30分～ 11時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分～ 12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～ 15時00分

紙パンツを無償配布します!

皆様からご寄付いただいた紙パンツ・パット(未開封のもの)を無償で配布します。
大竹市内にお住まいでの原則、サントピア大竹窓口まで取りに来られる方が対象です。
なくなり次第終了としますので、お早めにどうぞ。



《お問い合わせ》 地域福祉課 よりそいサポートセンター
TEL 35-5300

定例的な事業

事業名	とき	時間	内容
子育てサロン 「すこやか」	毎週水曜日	10時00分～ 12時00分	親子同士がふれあう 憩いの場です。
認知症の人との集い 「やすらぎの家」	毎週水曜日	10時00分～ 15時00分	認知症の人達が集う憩いの場です。
ソーシャルクラブ 「青空」	毎月一回	10時00分～ 14時00分	心の病気をお持ちの方 が一緒に過ごす憩いの場です。
サークル「憩い」	毎月 第4木曜日	10時00分～ 14時00分	精神障がいをお持ちの方 が楽しく集える 場所です。
ひきこもり支援	毎月 第4火曜日	10時00分～ 11時30分	ひきこもりの方が過 ごす場、家族同士の ふれあいの場です。

申込み・問い合わせはいずれも 大竹市社会福祉協議会

TEL 52-2211 FAX 53-8122

編集発行: 大竹市社会福祉協議会(大竹市西栄二丁目4番1号 大竹市総合福祉センター[サントピア大竹]内)
メールアドレス <info@otake-shakyo.or.jp> ホームページ <http://www.otake-shakyo.or.jp/>



民児協だより

第48号

大竹市民生委員児童委員協議会

大竹市西栄2丁目4-1
TEL 53-8121

令和3年度大竹市民児協総会

4月末に開催予定だった令和3年度大竹市民生委員児童委員協議会定期総会は、市内での新型コロナ感染症の陽性者が増加傾向にあるため、急きよ中止となり、昨年同様に書面審議の方法で行いました。

この一年余り、私たちは自粛生活や他者との交流・コミュニケーションの機会を制限されて過ごしてきました。そうしたことでより社会的に孤立したり、児童虐待やDVが一層深刻化するという新たな社会問題も生じることとなりました。

家庭の困窮は子どもの貧困や進学を阻むことにつながり、コロナ禍において地域住民の生活課題も多種多様で、それらへの的確な対応も求められています。

地域住民に寄り添い、地域に根ざした支援活動を行っている民生委員児童委員は、大竹市や大竹市社会福祉協議会等の関係機関と連携し、引き続き感染症

への対策に十分留意しながら、さまざまな工夫を講じて「地域思うんじやけど、こじこ手すりと行政をつなぐ」活動を続けてがあつたらいいんじやけどいきたいと思います。

民生委員児童委員が決まりました

新たに次の地区の民生委員児童委員が決まりました。

野村 良子 本町1丁目全域

選任中の地区は次のとおりです。

- ・木野1丁目全域
- ・油見1丁目全域
- ・立戸2丁目全域、

立戸4丁目2～6番、御幸町

○介護についての相談

「腰とひざが痛うてたまらん。近ごろ特にひどうなった。家事も草抜きも誰か手伝ってくれんかのう」

(連絡先)

大竹市地域包括支援センター

玖波地区地域包括支援センター

TEL 53-1165

TEL 53-7461



他の人には言えない、こんな悩みをお持ちの方、民生委員児童委員や地域包括支援センターにお気軽に声をかけてください。



「夜中、トイレに行く時、いつも思うんじやけど、こじこ手すりと行政をつなぐ」活動を続けてあつたらいいんじやけどねー」

◎詐欺被害についての相談

「こないだ、年寄りが詐欺におうたって一コースをやりよつた。そういうやあ、わしの携帯にも時々、知らん電話番号の着信が残つちよのんじゃが、不安じゃのう」

大手百貨店、市の職員、警察官、銀行員などといつわつて「あなたのカードが不正に使われている」「個人情報が漏れています」「カードの暗証番号を聞かせて」「などと云われたら、すぐに電話を切り、警察に通報してください。

もし、カードを渡してしまったり、だまされた場合も警察や地域包括センターなどに連絡してください。

(連絡先)

大竹警察署 TEL 53-0110

大竹市地域包括支援センター TEL 53-1165

玖波地区地域包括支援センター TEL 57-7461

大竹市消費生活センター

TEL 57-3236

5月12日は【民生委員・児童委員の日】

『マジンにちは赤ちゃん訪問』

平成20年度から子育て支援の一環で

「マジンにちは赤ちゃん訪問事業」がスタートしました。

この事業は、大竹市との共催で、各地区員制度の源とされる制度が開始されたことにちなみ、毎年5月12日が「民生委員・児童委員の日」とされました。

そして、5月12日から1週間は「活動強化週間」とされ、地域の方々に民生委員児童委員を身近に感じていただくための活動が全国各地で行われています。

大竹市においても小学校の正面前で挨拶活動などを行いました。
写真は、5月13日(木)、小方学園前で登校時の児童・生徒の皆さんへの朝の挨拶活動を行った時のものです。

を取りながらの説明など感染対策を行ながらお話をさせていただいています。



今回、本町一丁目の谷藤隆真・美希さんご夫婦宅を訪問させていただきました。はじめのおややさんの蒼眞くんは、私たちが訪問した時に「こり笑ってくれ、私たちのほうが癒され楽しい過ぎやせてもりいました。すぐ近くのおじいさん・おばあさん、ひいおばあさんに温かく見守られながらかくかく育つて貰えることだと思います。

このコロナ禍が一刻も早く収束し、赤ちゃんどご両親の生活が元通りになることを願ひばかりです。